

●各教科の考察

| | |
|------|---|
| 国語 | 2学期は、生徒一人ひとりが評論文を読んだり問題演習を行ったりする時間が長くなったため、「自主的な学び」に関する数値が向上した。 必修科目では、単元ごとの冊子を作成し、登場人物の心情や内容理解をより深められるよう工夫した。今後も思考力・判断力・表現力を伸ばすことを意識した授業展開を心がけていく。 |
| 地歴公民 | 2学期は、全体として数値の向上が見られ、1学期の課題としていた「学びあい」に関する数値の向上が見られた。公民科目では、「振り返りシート」を取り入れ、生徒自ら考える授業を実践し、歴史科目では、受験を意識するあまり、知識理解を中心とした授業が主になった傾向がある。 今後は、発表や討論などの場面を設定することによって、身につけた基礎力と応用力（思考力・判断力・表現力）をリンクさせることができるよう工夫していく。 |
| 数学 | 2学期では単元ごとの深度が増したが、生徒自身もさらに意欲的に取り組んだために、評価が向上した。一方で、生徒の授業への理解度の評価と実際が比例しなかった部分もあった。 教科の性質上、発表などの機会は限られるが、演習の取り入れ方を工夫したり、机間支援をしたりすることなどによって学びあう姿勢を育み、意欲を喚起して課題解決を図っていく。 |
| 理科 | 2学期は、ほとんどの項目において数値の向上が見られた。これは生徒が意欲的に授業に取り組んでいる結果であるといえる。一方で、内容理解や進行度合いなど生徒のニーズなどを考慮した授業展開については課題がある。 今後は、実験や実習、グループ活動やICT活用をはじめとした体験的な学習を積み重ねるなどの工夫により、改善を図っていく。 |
| 保体 | 2学期は、部活動も引退し体を動かす機会が少なくなったため、率先して動き、リーダーシップを発揮できる生徒が多くなった。そのため「生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある」という小項目の数値が向上した。 今後も引き続き、生徒が主体となって活動・発言できる機会を設けるなどの工夫をしていく。 |
| 芸術 | 2学期も全ての生徒が肯定的な評価をしており数値も向上した。個別学習やグループ学習では、作品の発表に向け熱心に取り組んでいた。 今後は、更に授業内容を工夫して、生徒に芸術的な感覚や実力をつけさせていく。 |
| 英語 | 2学期は、主としてスピーチやディベート、プレゼンテーションを行った。また授業内容とスケジュールを明確に示すことで、生徒一人ひとりが学習目標や内容を理解して取り組めるよう工夫した。そのため、授業内容の理解に関しての数値が向上した。 今後も、生徒の「汎用的な能力」を高め、互いの良さを認め合い、相互理解を図りながら自己の学びを深められるような機会を授業に取り入れ実践していく。 |
| 家庭 | 2学期はほとんどの数値が向上した。授業内では、「子どもの発達と保育」で施設での体験実習、「フードデザイン」で調理実習を設定し、実践活動による知識の習得や技術を向上に努めた。 今後も生徒の主体性を引き出し、学習したことを日々の生活につなげる方法を具体的に示していく。 |